

笑顔と希望の年へ

新しい政治をひらきます—日本共産党中信地区委員会

昨年、東日本大震災・原発事故さらに『松本震災』という未曾有の体験をし、日本共産党中信地区委員会も被災地に11回物資を運び、震災募金や救援・復興のボランティアはじめ被災者に心をよせて活動してきました。党の救援・復興への支援とご協力に心より感謝申し上げます。また、県議選・市議選へのお力添え大変ありがとうございました。

野田政権は、どの問題でもアメリカ・財界の「使い走り」で、正面からたす唯一の党、日本共産党の一番と、決意を新たに奮闘して参ります。今年は、原発ゼロの日本、TPP反対、被災者のための復興に全力をつくし、希望を拓く年となるようがんばります。本年もよろしく願っています。

地区委員長 北村 正弘



北陸信越から
原発ゼロの議席を
衆議院比例予定候補
藤野やすふみ

激動の2012年が幕を開けました。昨年来、北陸信越を駆けまわる中で、どこでも、「今度こそ衆議院で共産党の議席を」という熱い思いと、「くらしが厳しい。何とかしてほしい」という切実な願いを痛感しています。この願いに応えるために全力をつくす決意です。

きたるべき総選挙は、大震災・原発事故を受けて、「日本をどんな国にするのか」が正面から問われます。私は、各地の懇談で、二大政党の支持基盤の崩壊を実感しています。原発、TPP、消費税など様々な問題で、保守層、無党派層に広く訴えれば党への支持が広がります。候補者として全力を尽くし、原発ゼロ議席を勝ち取る決意です。ともに頑張りましょう！



絆を大切に
する一年に
県議会議員
両角友成

震災発生から8ヶ月経過した昨年11月11日、釜石市と大槌町へ災害ボランティアに行ってきました。あの現場にたち、被災者の心に寄り添いなんとしてもこの国を復興させなければと改めて強く感じてまいりました。こんな大切な「とき」国はベトナムに原発を輸出し、辺野古への米軍基地移設強行、TPPへの参加表明を行うおとしいです。

長野県内でも、知事は危険な断層が見つかったも工事を止めての調査は行わず浅川ダム工事に12年度も予算をつけました。どこを向いての政治でしょうか。この姿勢を正さなくてはなりません。

中学2・3年生への30人規模学級拡大、県非正規職員への待遇改善はじめ、長年、県民のみなさんとともに県議団が議会ですえ続けてきたことが実を結びました。「くらし・福祉第一」を貫き、本年も県民の皆さんと力を合わせ、力いっぱいがんばります。



地域経済の立て直しの年に
池田国昭 市議

昨年は皆さんに支えられての感謝の一年間でした。本当にありがとうございました。



市民のくらしを守る松本市を
南山国彦 市議

環境に配慮した自然エネルギーへの転換・活用を本格的な取り組みするとともに、TPPに反対し地元農業と地域経済を守ります。また、住宅リフォーム助成制度のさらなる充実で中小零細業者の仕事を確保し、医療福祉の負担軽減にも取り組み市民の暮らしの守り手として、今年も全力を尽くして働きます。



井上さとし 参議院国対委員長

来年夏の参院選挙で再び、北陸信越・東海・京都の比例代表予定候補として発表されました。藤野保文さんは、一回り違いの同じ戊年。勝利をめざして2人で大いに駆け回ります。どうぞよろしく願います。